

福祉の賞事典

日外アソシエーツ 編

A5・460頁 定価17,600円(本体16,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2894-9 2021年10月刊行

優れた成績を収めた障害者・福祉に貢献した人物・団体等に贈られる65賞

- 日本で主催されている、福祉に係る65賞の概要と受賞者を通覧できる事典です。
- 各賞の設立経緯、賞金、主催者などを紹介、第1回から最新回までの受賞者を掲載。学術、芸術、科学など様々なジャンルの福祉賞をこの一冊で調査できます。
- 「受賞者名索引」付き。

■ 収録賞例 ■

IAUD国際デザイン賞／愛知県弁護士会人権賞／ありのまま自立大賞／糸賀一雄記念賞／医療功労賞／医療福祉建築賞／NHK障害福祉賞／大阪弁護士会人権賞／大山健康財団賞／企業ボランティア・アワード／子ども文庫功労賞／児童福祉文化賞／チャレンジ賞・サフラン賞／点字毎日文化賞／東京弁護士会人権賞／鳥居賞／日本パラスポーツ賞／ノウフクアワード／ヘレン・ケラー記念音楽コンクール／ヘレンケラー・サリバン賞／保健文化賞／毎日社会福祉顕彰／読売福祉文化賞／わたぼうし音楽祭わたぼうし大賞 など

内容見本

039 点字毎日文化賞

視覚障害者の文化・福祉・教育に貢献した人々の表彰によって、社会の理解を深めることを目的として、昭和39年に創設された。

【主催者】 毎日新聞社点字毎日部

【選考方法】 公募(自薦・他薦を問わず)

【選考基準】 [資格] 視覚障害者、晴眼者を問わず。[対象] 視覚障害者指導育成、学術・教育、点字出版、点字普及・研究、音楽・文芸、新職業開拓その他の分野で視覚障害者文化の向上と福祉増進に先駆的な業績をあげた個人や団体

【締切・発表】 (第57回) 令和2年11月1日発表

【賞・賞金】 賞状と記念盾、副賞(「中村京太郎賞」置時計と「日本盲人福祉委員会奨励賞」賞金30万円)


【URL】 <https://www.mainichi.co.jp/co-act/tenji.html>

- | | |
|---|--|
| 第1回(昭和39年度)
好本督“世界初の点字新聞発行に尽力” | 第14回(昭和52年度)
芹沢勝助“東洋医学系物理療法の科学化への研究と視覚障害者教育に貢献” |
| 第2回(昭和40年度)
志村大喜弥“日本初の盲ろう教育創始者、山梨盲学校教諭” | 第15回(昭和53年度)
中塩幸祐“作曲・演奏活動の傍ら、口伝の古典箏曲・地唄の保存に尽力” |
| 第3回(昭和41年度)
鈴木力二“東京都立葛飾盲学校長、盲教育への貢献” | 第16回(昭和54年度)
鈴木栄助“視覚障害教育の分野での優れた実践、出版による啓蒙活動” |
| 第4回(昭和42年度)
本間一夫“日本初の点字図書館創設者” | 第17回(昭和55年度)
山本卯吉“視覚障害者の新職業開拓、障害者の自立更生に尽力” |
| 第5回(昭和43年度)
和波孝禧“盲バイオリニスト、日本初のプロ音楽家” | 第18回(昭和56年度)
山川園松“作曲・演奏活動を通しての箏曲の普及啓蒙に貢献” |
| 第6回(昭和44年度)
岩橋英行“日本ライトハウス理事長、盲人福祉への貢献” | 第19回(昭和57年度)
塩屋賢一“日本で初めて盲導犬を育成し普及に尽力” |
| 第7回(昭和45年度)
肥後基一“東京点字出版所理事長、自力で点字出版、盲人文化向上に貢献” | 第20回(昭和58年度)
該当者なし |
| 第8回(昭和46年度)
中道益平“光道園理事長、重度身障者に全国初の収容授産施設建設の功績” | 第21回(昭和59年度)
本間昭雄“盲老人ホームの運営と開設普及運動に尽力” |
| 第9回(昭和47年度)
松井新二郎“盲人カナタイプ運動を創始、盲人の職業更生に尽力” | 第22回(昭和60年度)
前沢絢子“盲婦人運動の指導を通じ、地位向上に尽力” |
| 第10回(昭和48年度)
木村竜平“点字の普及活動に尽力” | 第23回(昭和61年度)
川上泰一、長谷川貞夫“点字の漢字考 |

2021.10

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	福祉の賞事典		冊
	注文書	定価17,600円(本体16,000円+税10%) ISBN978-4-8169-2894-9	
			 9784816928949